



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 亀田製菓株式会社

コード番号 2220 URL www.kamedaseika.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 高木 政紀

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO 兼 管理本部長 (氏名) 小林 章 TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 70,136 | △2.4 | 2,895 | △7.5 | 3,995 | △7.6 | 1,983 | 24.2 |
| 2023年3月期第3四半期 | 71,840 | 14.9 | 3,130 | 6.0 | 4,326 | 18.1 | 1,596 | △48.0 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,105百万円 (△6.3%) 2023年3月期第3四半期 4,382百万円 (13.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 94.09 | - |
| 2023年3月期第3四半期 | 75.74 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 116,117 | 70,870 | 57.9 | 3,188.19 |
| 2023年3月期 | 111,182 | 67,996 | 58.3 | 3,076.11 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 67,217百万円 2023年3月期 64,855百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | - | 15.00 | - | 40.00 | 55.00 |
| 2024年3月期 | - | 15.00 | - | - | - |
| 2024年3月期 (予想) | - | - | - | 41.00 | 56.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 97,500 | 2.6 | 4,500 | 26.2 | 5,800 | 11.2 | 3,300 | 74.3 | 156.52 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社 （社名）Singha Kameda Trading (Thailand) Co., Ltd.
(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期3Q | 22,318,650株 | 2023年3月期 | 22,318,650株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 1,235,238株 | 2023年3月期 | 1,234,981株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期3Q | 21,083,525株 | 2023年3月期3Q | 21,083,671株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2024年2月9日（金）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 9 |
| (セグメント情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外からの旅行者の拡大、人流の復活もあって、緩やかな回復傾向が続きました。

一方で、国際情勢の緊迫、円安、原材料価格、エネルギー価格の高止まりは解消されておらず、企業収益の下押し要因となっています。

国内の食品企業においては、これらの経済環境を踏まえ、厳しい舵取りが続いています。

こうした中、当グループは、経営環境の変化を踏まえて再構築した「中長期成長戦略2030」の実行に向けて取り組んでいます。お米の恵みを美味しさ・健康・感動という価値に磨き上げ、お客様の健やかなライフスタイルに貢献する、“Better For You”をパーパス（存在意義）として位置づけ、お米の可能性を最大限に引き出し、社会に対して新価値・新市場を創造する姿、ビジョン（目指す姿）“ライスイノベーションカンパニー”の実現を通じて持続的な成長と企業価値向上を目指していきます。

これまで国内米菓事業で培った技術やノウハウなどの事業基盤をベースとして、海外事業ならびに食品事業への先行投資を通じて事業領域の拡大に取り組んでいますが、将来的にはこれらの取り組みにより蓄積する技術やノウハウを強みに、アセットライトで高収益なビジネスモデルへの展開を目指しています。2026年度までにグループの収益基盤を整え、以降はその強固な基盤のうえに、もう一段の事業拡大を図ることで2030年度に向けた持続的な成長と企業価値向上に取り組んでいきます。

中計初年度にあたる2023年度は、多様化する社会のニーズに応え、社会課題の解決に資する商品開発などを通じ、お客様に価値を提供し続ける企業を目指し、構造改革の実行と、経営基盤の強化に取り組んでいます。

国内米菓事業については、外出型消費の回復により、需要は底堅く推移しています。当社は、原材料やエネルギー価格の高止まりによる収益影響を踏まえ、商品の価格改定や規格変更を実施するとともに、商品の独自性を高めた価値訴求型の競争戦略へと転換を図ることで、業績確保に取り組んでいます。

重点ブランドである「亀田の柿の種」は、新たな食シーンを訴求するテレビCMの放映やそれに連動した店頭露出の強化を図るとともに、需給のひっ迫により休止した商品の復活も含め需要喚起に努めました。「ハッピーターン」「無限」シリーズは人気スマートフォンアプリゲームとのコラボレーションキャンペーンを実施するなど若年層獲得に向けた取り組みも継続的に推進しています。また、当社が培ってきた「お米」の加工技術を活かした新価値商品の育成に取り組むなど、ブランド価値の深化と商品価値の進化の両輪で取り組みを進めています。加えて、商品戦略に連動する形で、生産能力増強や適正価格販売、販売促進費用の効果的な執行等、価値訴求に軸足を置いた活動を展開しています。

これらの取り組みの結果、重点4ブランドの売上高については「無限」シリーズが前年同四半期を上回った一方、「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「亀田のつまみ種」は前年同四半期を下回りました。

なお、百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社は、コロナ禍からの正常化に伴う市場回復効果もあり増収となりましたが、単体米菓の減収を補えず、国内米菓事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

海外事業については、北米のMary's Gone Crackers, Inc. は引き続き生産活動の立て直しや供給体制の正常化を図り、事業基盤の回復、値上の実行等、収益改善に向けた取り組みを進めています。一方アジアでは、ベトナムのTHIEN HA KAMEDA, JSC.における堅調な国内需要およびクロスボーダー取引拡大などが寄与し、海外事業全体の売上高は前年同四半期を上回りました。

食品事業については、プラントベースフードは植物性原料100%のサラダチキンを発売し、取り扱い拡大に取り組むとともに、アレルギー28品目不使用の米粉パンは、機能性に加え米粉ならではの品質を訴求し、個人向けに加え業務用の取り扱い拡大にも取り組んでいます。また、植物性乳酸菌については、機能性を訴求し差別化を図ることで販路拡大に取り組んでいます。

長期保存食については、企業備蓄による買い替え需要が堅調に推移する一方で、前年同四半期に地震等の影響で高まった個人需要やコロナ禍による各自治体の在宅治療支援物資に採用された反動減の影響を受けました。これらの結果、食品事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、売上高は70,136百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

営業利益については、単体米菓における商品の価格改定、規格変更に加え、重点4ブランドの成長に向けたセールスプロモーション活動や生産能力増強によりプロダクトミックスの改善に取り組むとともに、販売促進費の効率的な執行、商品の絞り込みや外部生産委託の活用など生産効率の向上に継続的に取り組むことで収益性は着実に改善しつつありますが、急速なシェア拡大を図った前年同四半期との比較では減益となりました。百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社については、人流の回復効果もあり増益となり、単体米菓の減益をカバーして国内米菓事業全体では前年同四半期比で増益となりました。

海外事業については、THIEN HA KAMEDA, JSC.において国内販売に加えクロスボーダー取引が拡大する等、アジア地域は総じて好調に推移し、同地域では、着実な利益成長を果たしました。一方で、Mary's Gone Crackers, Inc.においてオペレーションの正常化を図るプロセスにおいて、一時的な構造費用等が発生した結果、海外事業全体では前年同四半期比で損失拡大となりました。

食品事業については、長期保存食の個人需要の反動減影響に加え、プラントベースフードの規模拡大に向けた先行投資の影響もあり、前年同四半期比で減益となりました。

これらの取り組みの結果、営業利益は2,895百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

また、経常利益については、円安に伴う一時的な為替差益が発生しましたが、営業減益に加え持分法適用関連会社であるTH FOODS, INC.の持分法による投資利益が減少した結果、3,995百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、1,983百万円（前年同四半期比24.2%増）と、前年同四半期にMary's Gone Crackers, Inc.に起因する特別損失を計上していたこともあって、増益となりました。

〔補足情報〕

(単位：百万円)

| | 前第3四半期 連結累計期間 | 当第3四半期 連結累計期間 | 対前年同四半期比 | |
|---------------|------------------|------------------|----------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 71,840 | 70,136 | △1,703 | △2.4% |
| 国内米菓事業 | 51,364 | 49,493 | △1,871 | △3.6% |
| 海外事業 ※1 | 10,808 | 11,175 | 367 | 3.4% |
| 食品事業 ※2 | 4,739 | 4,261 | △477 | △10.1% |
| その他（貨物運送等） ※3 | 4,927 | 5,206 | 278 | 5.6% |
| 営業利益 | 3,130 | 2,895 | △234 | △7.5% |
| 営業利益率 | 4.4% | 4.1% | | |
| 国内米菓事業 | 2,852 | 3,322 | 469 | 16.5% |
| 海外事業 ※1 | △141 | △422 | △280 | — |
| 食品事業 ※2 | 147 | △302 | △449 | — |
| その他（貨物運送等） ※3 | 273 | 298 | 25 | 9.2% |

※1 海外事業は、海外子会社に加え、国内の輸出入取引を含んでおります。

※2 食品事業の主な内容は、長期保存食や植物性乳酸菌に加え、米粉パンやプラントベースフード等であります。

※3 その他の主な内容は、貨物運送等であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は33,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,760百万円増加いたしました。これは主に「受取手形、売掛金及び契約資産」が1,386百万円、「商品及び製品」が420百万円、「原材料及び貯蔵品」が839百万円それぞれ増加した一方、「現金及び預金」が598百万円、「その他」が303百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は83,090百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,174百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の「その他」が3,173百万円、「投資有価証券」が860百万円、投資その他の資産の「その他」が397百万円それぞれ増加した一方、「機械装置及び運搬具」が967百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、116,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,935百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は29,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,400百万円増加いたしました。これは主に「電子記録債務」が431百万円、「短期借入金」が3,364百万円、「未払法人税等」が99百万円それぞれ増加した一方、「引当金」が602百万円減少したことによるものであります。固定負債は16,123百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,339百万円減少いたしました。これは主に「その他」が513百万円増加した一方、「長期借入金」が1,898百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、45,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,061百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は70,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,873百万円増加いたしました。これは主に「親会社株主に帰属する四半期純利益」1,983百万円及び「剰余金の配当」1,159百万円により「利益剰余金」が824百万円増加したことや、「為替換算調整勘定」が1,369百万円、「非支配株主持分」が511百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.9%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表した業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,275 | 7,676 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 13,654 | 15,040 |
| 商品及び製品 | 2,791 | 3,212 |
| 仕掛品 | 791 | 816 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,874 | 4,714 |
| その他 | 1,899 | 1,595 |
| 貸倒引当金 | △20 | △30 |
| 流動資産合計 | 31,266 | 33,026 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 18,188 | 18,107 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 21,275 | 20,308 |
| その他（純額） | 12,516 | 15,690 |
| 有形固定資産合計 | 51,981 | 54,106 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,125 | 2,063 |
| 顧客関係資産 | 887 | 826 |
| 商標資産 | 795 | 738 |
| 技術資産 | 493 | 458 |
| その他 | 1,080 | 1,085 |
| 無形固定資産合計 | 5,382 | 5,172 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 14,941 | 15,802 |
| その他 | 7,654 | 8,052 |
| 貸倒引当金 | △44 | △43 |
| 投資その他の資産合計 | 22,551 | 23,811 |
| 固定資産合計 | 79,915 | 83,090 |
| 資産合計 | 111,182 | 116,117 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,571 | 4,608 |
| 電子記録債務 | 2,910 | 3,341 |
| 短期借入金 | 7,034 | 10,399 |
| 未払法人税等 | 498 | 598 |
| 引当金 | 1,520 | 917 |
| 資産除去債務 | 67 | 69 |
| その他 | 9,119 | 9,187 |
| 流動負債合計 | 25,722 | 29,123 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 13,470 | 11,571 |
| 退職給付に係る負債 | 539 | 575 |
| 資産除去債務 | 282 | 291 |
| その他 | 3,170 | 3,684 |
| 固定負債合計 | 17,462 | 16,123 |
| 負債合計 | 43,185 | 45,246 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,946 | 1,946 |
| 資本剰余金 | 170 | 170 |
| 利益剰余金 | 59,163 | 59,987 |
| 自己株式 | △1,901 | △1,903 |
| 株主資本合計 | 59,378 | 60,201 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 665 | 876 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 4,443 | 5,813 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 366 | 327 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,477 | 7,016 |
| 非支配株主持分 | 3,141 | 3,652 |
| 純資産合計 | 67,996 | 70,870 |
| 負債純資産合計 | 111,182 | 116,117 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 71,840 | 70,136 |
| 売上原価 | 52,949 | 51,550 |
| 売上総利益 | 18,890 | 18,585 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,759 | 15,689 |
| 営業利益 | 3,130 | 2,895 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 58 | 103 |
| 受取配当金 | 51 | 55 |
| 持分法による投資利益 | 634 | 406 |
| 為替差益 | 392 | 433 |
| その他 | 153 | 185 |
| 営業外収益合計 | 1,290 | 1,185 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 60 | 59 |
| その他 | 34 | 26 |
| 営業外費用合計 | 94 | 85 |
| 経常利益 | 4,326 | 3,995 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 108 | 101 |
| 減損損失 | ※ 1,792 | — |
| 特別損失合計 | 1,901 | 101 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,425 | 3,894 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 549 | 852 |
| 法人税等調整額 | 15 | 730 |
| 法人税等合計 | 564 | 1,583 |
| 四半期純利益 | 1,860 | 2,311 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 264 | 327 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,596 | 1,983 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,860 | 2,311 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △22 | 210 |
| 繰延ヘッジ損益 | △21 | △2 |
| 為替換算調整勘定 | 1,815 | 859 |
| 退職給付に係る調整額 | △116 | △38 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 866 | 765 |
| その他の包括利益合計 | 2,521 | 1,794 |
| 四半期包括利益 | 4,382 | 4,105 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,671 | 3,522 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 711 | 582 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

当グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

| 用途 | 種類 | 場所 |
|-------|------------------------------------|----|
| 事業用資産 | 建物及び構築物 機械装置及び運搬具 有形固定資産のその他 | 米国 |

事業用資産については、菓子の製造販売事業を基礎としてグルーピングし、賃貸資産及び遊休資産については、個々の物件単位にグルーピングしております。また、連結子会社は原則として各社を一つの単位としてグルーピングしております。

米国の事業用資産については、連結子会社であるMary's Gone Crackers, Inc.において経営環境の急激な悪化に対応しきれず営業損失を計上したことから、米国会計基準に基づく減損テストを実施した結果、公正価値が帳簿価額を下回ることとなったため、帳簿価額を公正価値まで減額し、当該減少額を減損損失1,792百万円として特別損失に計上しました。その内訳は建物及び構築物128百万円、機械装置及び運搬具821百万円、有形固定資産のその他843百万円であります。

なお、公正価値は将来キャッシュ・フローを割引いて算定しており、使用した割引率は3.71%です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、Singha Kameda Trading (Thailand) Co., Ltd.は清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|----------|--------|-------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 国内 米菓 | 海外 | 食品 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約か ら生じる収益 | 51,364 | 10,808 | 4,739 | 66,912 | 4,927 | 71,840 | — | 71,840 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への 売上高 | 51,364 | 10,808 | 4,739 | 66,912 | 4,927 | 71,840 | — | 71,840 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 7 | 1,284 | 35 | 1,327 | 4,447 | 5,775 | △5,775 | — |
| 計 | 51,372 | 12,092 | 4,774 | 68,240 | 9,375 | 77,615 | △5,775 | 71,840 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 2,852 | △141 | 147 | 2,857 | 261 | 3,119 | 11 | 3,130 |

(注) 1. 「その他」には、貨物運送等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額11百万円は、セグメント間取引消去11百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」において、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,792百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|---------------------------|----------|--------|-------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 国内 米菓 | 海外 | 食品 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 顧客との契約か ら生じる収益 | 49,493 | 11,175 | 4,261 | 64,930 | 5,206 | 70,136 | — | 70,136 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への 売上高 | 49,493 | 11,175 | 4,261 | 64,930 | 5,206 | 70,136 | — | 70,136 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 5 | 795 | 7 | 808 | 4,129 | 4,938 | △4,938 | — |
| 計 | 49,498 | 11,971 | 4,269 | 65,739 | 9,335 | 75,075 | △4,938 | 70,136 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 3,322 | △422 | △302 | 2,597 | 288 | 2,886 | 9 | 2,895 |

(注) 1. 「その他」には、貨物運送等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額9百万円は、セグメント間取引消去9百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。